



# 浜田地区更生保護

第5号

平成25年7月1日発行  
 浜田地区保護司会  
 事務局 浜田市清水町2063番地2  
 TEL.0855-22-1740

浜田市・金城町波佐地区  
 杉田雅弘保護司撮影



## 島根更生保護会にご支援を

松江保護観察所 所長 中村明英

今年四月の人事異動により松江保護観察所で勤務することになりました。

着任早々の四月十日、島根県の更生保護関係者の念願だった「島根更生保護会」が全面改築され、その竣工式に参列させていただくという機会に恵まれました。更生保護施設は、刑務所や少年院を出ても行き場のない人が、再び犯罪をして社会に迷惑をかけることがないよう立ち立ちできるまで生活する施設です。

島根更生保護会は、明治四十四年に島根授産会として島根県下の有志の方々が設立した民間の施設です。設立されて以来百二年の間、犯罪や非行



新築された島根更生保護会

をして行き場をなくした多くの人々を收容し、その立ち直りを支援してきました。その間、保護司や更生保護女性会という地域で更生保護を支えていただいている方々だけでなく、一般の方々からも多大なご支援をいただいております。

ここに更生保護関係者を代表して御礼申し上げますとともに、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## ごあいさつ

浜田地区保護司会

会長 大源 富夫

平素は更生保護活動をはじめ浜田地区保護司会に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。私、このたび浜田地区保護司会会長を任命されました大源と申します。よろしくお願ひ致します。

近年「刑の一部執行猶予制度」「社会貢献活動」「更生保護サポートセンター」の設置、「就労支援」等と我々保護司も忙しくなって参りました。時代に遅れないよう研修会等には積極的に参加するとともに一層の研鑽に努めて参りたいと考えております。

更生保護女性会をはじめ、行政、各種団体との連携、協議を重ね、仮出所した人たち、および保

護観察中の人たちの社会復帰、就労支援、雇用の確保、住居はどうすればいいのか、現在の犯罪の半分以上が出所者の再犯であると言われます。出所して就労、居住の問題をどうするか、再犯を少しでも少なくするために雇用の確保を図るには、各団体をはじめ各企業、個人、地域の皆様の温かいご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

罪を犯した人も、非行をした人も地域社会の一員です。明るく受け入れられ地域で共に暮らし、どう生活するか地域の皆さんのご協力がなければ不可能なのです。私達はこれからも地域に密着した活動を推進して参ります。

犯罪や非行のない明るい浜田保護区の実現に皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 運動”中央推進委員会主催

## 作文コンテスト

「社会を明るくする運動」作文コンテストは年々応募数も増え、県内の小学校 55 校から 547 点、中学校 49 校から 379 点の応募がありました。第 1 次審査を通過した 75 点のうち、最優秀賞を含む 6 点が全国大会に出品され、佐々木風香さんの作品が、見事上位入賞を果たされました。また小学生最優秀賞に輝いた堀 文哉さんの作品をご紹介します。



全日本中学校長会会長賞

## 信じることの大切さ

江津市立青陵中学校 2年  
(現：江津市立青陵中学校 3年)

佐々木 風 香 さん

私には父と母が近くにいません。父と母は私が二歳にならないうちに離婚し、それから今まで、私は祖母の家に預けられて育ちました。

母は仕事で県外にいます。預けられたころの私は、まだ幼く、両親が近くにいないことは気になりませんでした。逆にそれが当たり前だと思っていました。

しかし、小学生になったころから、少しずつ自分の今の状況が気になり始め、私にはなぜ母がそばにいないのか、みんなにはなぜ、近くに、というより、一緒に家に両親がいるのかと思うようになりました。

そして、それから間もなく、両親が離婚したことを知りました。父はもう私のそばにはいないということ、母は仕事のため、私と一緒に暮らせないということも。

その日から、今まで思ってもみなかった気持ちが、私の心の中から消えなくなりました。それは、「母に会いたい。母に、私のそばにずっといてほしい。」というものでした。

それは日を追うごとに強くなっていき、自分ではどうしようもなくなりました。

みんなの会話の中に必ず登場してくる、お父さんやお母さんとの話題。気にしないようにしているのに、なぜか耳に入ってきました。また、親と楽しそうに話したり、一緒に歩いている人たちがすごくうらやましくもありました。

けれど、こういう気持ちが自分の心の中にあるということを、祖父や祖母、そして母には隠し続けました。心配をかけたらいけないという思いのほうが強く、ずっと一人で抱え込んでいました。

それは小学校高学年になったころでした。私は、今まで抱えてきた思いを、自分ではどうしようもなくなって、とうとう祖母にぶつけてしまいました。

「私だってお母さんの近くにいたい。何で私はお母さんと一緒にいられないの。」と。私は泣きながら叫んでしまいました。でも、祖母は、私の気持ちをただ黙って聞き、受け止め、受け入れてくれました。

「つらいのは一番知っているよ、でも自分が一番幸せだと思ったときがきたら本当に幸せなんだよ。」と言ってくれました。そして、一緒に泣いてくれました。祖母が泣いたのを見たのは、これが初めてでした。

今まで一人で抱えてきた思いを話せたことで、ずっと持っていた不安は少しとれました。しかし、母には、

自分の気持ちを伝えられずにいました。

私は、母が大好きです。母が大好きだからこそ、今の自分の気持ちを言ってしまったことで母が悲しみ、傷ついてしまうことがこわかったのです。でも同時に、自分の今の正直な気持ちを伝えなければ、この不安な思いは本当には消えないとも思っていました。

中学校一年生になった時、私は自分の素直な気持ちを母に伝えました。ずっと一人で抱え込んできたことを話すことは、いざとなると勇気もいったし、恥ずかしさもありましたが、「こっちで一緒に暮らせないの。」と、やっと伝えることができました。

母は、私が話すことをしっかり聞いてくれました。そして、「話してくれてありがとう。」と言ってくれました。この瞬間、私は祖母に話した時のことを思い出しました。それと同時に、私のことを、家族はちゃんと見ていてくれるんだ、こんなにも想ってくれているのだということが分かり、母や祖母、祖父のことを信じたいと心から思いました。

こういう思いをもつことができるということは、私は本当に幸せなのだと感じました。

自分の話を聞き、一緒に喜び、悲しみ、共感してくれたり、時には厳しい意見も言ってくれる人が、私たちの周りにはきっといると思います。それは、家族であり、友達や仲間でしょう。

そして、そうした人たちに、思い切って、自分の思いを正直に話してみる。大切な相手と気持ちがわかりあえる、とても良い機会になると思います。

これからも私は、今まで育ててくれた祖父や祖母、遠くから見守ってくれている母に、私の気持ちを正直に、素直に伝えていこうと思っています。なぜなら、「伝え合う」ことで、自分と相手がしっかりとつながり、分かり合えると分かったからです。そして、このことを通して、人を思うことの大切さ、信じることの大切さがわかりました。

私の家族。友達の家族の形とは、いろいろと違います。けれど、私の家族は、確かに、私にとってかけがえのない家族なのです。

おじいちゃん、おばあちゃん、そしてお母さん、大切なことにことに気づかせてくれてありがとう。

私は、今、とても幸せです。

小学生の部

平成24年度

法務省“社会を明るくする

## 第62回 “社会を明るくする運動”



島根県最優秀賞

## 勇気をもって一言

浜田市立雲城小学校 6年

(現：浜田市立金城中学校 1年)

堀 文哉 さん

ほくは、地域の野球の少年団に入っています。

ほくは、6年生になりピッチャーを任されました。一試合投げるには体力が必要です。チームのためにもたくさん走って体力をつけようとがんばっています。

ある日ほくは、いつものように町内を走っていました。すると、ほくの前の方に大きな荷物を持って歩いている人が見えました。

「大きい荷物を持って大変そうだな。」と思いながら、その人との距離が少しずつ近づいていきます。荷物を持っているのがおばあさんだというのが分かりました。

そのとたん、ほくの頭の中には「どうしよう。」という思いでいっぱいになりました。

重くて大きな荷物を大変そうに運んでいるおばあさんに、なんて声をかけたらいいだろう。

「あいさつだけでいいのかな。」「手を貸してあげた方がいいのかな。」など、考えながら走っていくうちにどんどん距離は近づいていきます。ほくの胸もどんだんドキドキしていきます。すると、ほくの前を歩いていたお兄さんがそのおばあさんに、「重そうですね。お手伝いしましょうか。」と声をかけました。

おばあさんは、うれしそうな顔で「ありがとう。」と言って、手伝ってもらっていました。

それを見たほくは、おばあさんが助けてもらったことに対し、ホッとしたのとうれしい思いになりました。

それと、重たい荷物を持っていたおばあさんの姿を見てあたりまえのように声かけたお兄さんを「すごく優しい人だな。」という思いでいました。

ほくは、声をかけようかどうしようか悩んでいたのがすごく恥ずかしくなりました。

その二人の横を通り過ぎる時、「こんにちは。」と言って通り過ぎましたが、心の中では、「お兄さんありがとう。」という思いで走り去りました。

なんだか恥ずかしくかったのと、その場を早く通り過ぎていきたいという思いで急いで立ち去りました。

しばらくして、また、いつものように町内を走っていました。すると、学校の前の石段を、腰を曲げなが

ら杖をついてゆっくりと登っているおばあさんがいました。

「大変そうだな。」と思いながら、その場を通り過ぎようと思いました。でも、ふとあの時のお兄さんの姿を思い出しました。

「このまま通り過ぎたらほくはあの時と同じだ。」と思い、おばあさんの横に行き、「大丈夫ですか？お手伝いしましょうか。」と勇気をもって声をかけました。

すると、おばあさんはほくの顔を見ながら「お願いします。」と言ってくれました。

ほくは、緊張しながらおばあさんの手を持ち、腰に手をあてていっしょに石段を上りました。

緊張していたので、その間何を話したとかよく覚えていませんが、いつも上っている学校の石段が違ったように感じました。

石段の上まで上った後ほくは、「それでは。」と走っていきこうとしたら、おばあさんが「ありがとう。」と喜んでくれました。

その一言にほくは、なんだかすごくうれしい気持ちになりました。そして、おばあさんに「はい。」と返事をしてその場を立ち去りました。

でも、あの時とは違い、心もかるく、足取りもかるく、自然と走るスピードもあがりました。

いつもと違い走るのがとても気持ち良かったです。

ほくは、今回のことで大切なことを感じました。

それは、ほくたちの町には、小さい子、高齢者の方、障害のある方などたくさんの方がいて、ときどき助けを必要とされることがあります。

そんな時に、だまって通り過ぎるのではなく、「大丈夫ですか。お手伝いしましょうか。」と、一言かけるのが大切だということです。

その一言を言うのにすごく勇気がいります。でもその一言で、人の役に立ち喜んでもらえます。

そして、自分も嬉しい気持ちになります。おたがいがうれしい気持ちになれる一言が言えることで、ほくたちの町はもっともっと明るくなっていくのではと思います。

知っている人でも知らない人でもおたがいが助け合い、協力していける町になっていけるように、ほくはこれからもたくさんの人に声をかけていけるように心がけたいと思います。



### 浜田分区 保護司活動を省みて 森 福 直

自転車の前に手書きのプラカードを取り付け、BBS の 6 名で浜田市役所前を出発し行進したのが、私が 16 歳のときでした。その後保護司を拝命し、早いものでこの春 定年を迎えました。

数多くの対象者と共に生き、共に歩むをモットーに立ち直りを願う日々でした。仕事を探し本人に自覚をさせるよう話し合いの毎日でした。



私自身 3 歳で母親と死別し、5 歳で父親が戦争に招集され、12 歳上の姉と 5 歳上の兄の 3 人で、あの苦しい戦後を生きてきました。

私のような者が、人様の面倒をみる保護司の活動ができるかと、不安もありましたが、皆様に助けられ無事終わることができました。

ある少年とは、4 年間も松江刑務所に面接に通いました。同じ非行を何度も繰り返す少年でしたが、現在は立派に立ち直り一生懸命働いております。

一度に 5 人の対象者を 2 年間受け持った時は、本当に大変な毎日でした。

働く姿を見るのは、自分の子どもを見るような喜びです。立ち直って生活している人たちに会うたびに、更生保護制度の素晴らしさや、大切さを、心より感じ、定年を迎えるにあたり感謝しています。

今後とも保護司活動が、社会の基礎の部分で役立つことを願っております。

## 「社会を明るくする運動」



### 保護司会の活動

浜田分区・那賀分区・江津分区

毎年 7 月は「社会を明るくする運動」強調月間として、各分区とも共通の取り組みが行われています。

- 「社会を明るくする運動」強調月間によせて、法務大臣メッセージの伝達
  - 「社明運動」推進委員会及びミニ集会の開催
  - のぼり旗の掲出及び街頭啓発活動
  - 中学校を訪問し、連携強化を図る…など実施
- 各分区の特色ある活動を紹介します。

### 那賀分区



那賀分区旭班は、5 地区より保護司 5 名と更生保護女性会 25 名、行政は市民福祉課が担当し、「社会を明るくする運動」月間に取り組みます。

初日には地区内各駐在所の警察官、非行防止や犯罪予防に関連する各種団体の代表者、旭自治区長をはじめ各課長、総勢 40 名あまりが参加のもと、「法務大臣メッセージ」の伝達式を実施しています。

伝達の後自治区長、警察、島根あさひ社会復帰促進センター長より、各立場での非行防止や犯罪防止、犯罪者の更生のお話をさせていただきます。



参加者の意識高揚に非常に役立っています。

同時に、保護司、更生保護女性会と支所とで推進会議を行います。

社明月間や年間の取り組みを話し合い、特に多くの人が集まるところのない我が班では、防災無線での放送と各地区の小集会などの行事に出向き、リーフレットやティッシュペーパーを配り、月間の趣旨を PR しています。

また、保護司、更生保護女性会との合同研修では、金城班と一緒に日帰りの施設参観を実施し、親睦を深め、力を合わせ非行や犯罪の防止に取り組んでいます。

### 江津分区

○ 江津分区では強調月間の初日、推進大会に先駆け、早朝 7 時より JR 江津駅前、分区保護司、更生保護女性会、江津警察署合同で通勤、通学者への街頭啓発活動を行っています。



JR 江津駅での街頭指導

○ 推進大会では、推進委員長である田中増次江津市長の開会宣言に続き、大源富夫江津分区長から法務大臣メッセージが田中市長に伝達されました。



法務大臣メッセージ伝達式

○ 10 月 10 日(木)江津市役所において、第 62 回「社会を明るくする運動」の標語入選作品表彰式が行われました。市内 4 中学校 676 点の応募の中から、最優秀賞は江津中学校 3 年生松本 咲さんの作品が選ばれました。この作品は、平成 25 年 7 月 1 日～31 日までの第 63 回「社会を明るくする運動」期間中、江津市役所に横断幕で掲出されます。



標語入選作品表彰式 (江津市役所)

松本 咲さんの作品

「犯罪は 自分の心も 傷つける」

# 社会貢献活動とは

保護観察中の人たちが地域社会に貢献する活動を行うことを通じて、立ち直ることを目的としています。社会の役に立つ体験を通じて、人の役に立てるといふ感情や社会のルールを守る意識を育みます。

## 活動実施状況について

社会貢献担当保護司

永妻 壽則

昨年十一月二日特別養護老人ホーム「白寿園」において、浜田地区対象者二名、担当保護司三名、松江保護観察所観察官一名により実施しました。

活動内容は「白寿園」の秋の恒例行事「やきいも会」のお手伝い。用意されたさつま芋は二五〇本、一本づつ濡れた新聞紙に包む作業から始まり、一方では、ドラム缶に炭火をおこし、丁寧に焼き上げる作業でした。かなり大変な作業でしたが、この間、対象者二名は非常に熱心に、かつ作業に集中し、二人ともやりがいを感じながら取り組んでいた態度が印象的でした。

一人は今回の活動の感想として、高齢者の喜ばれる姿に接し、今後はこうした老人福祉施設で働くことに決め、役立ちたいと目を輝かせて話してくれました。

また、もう一人はちょうどその日で保護観察が終了するとのこと、明日から市内のコンビニで働くとのこと。

これまでお世話になったことに感謝の思いを語ってくれました。

今回、こうした有意義な活動を通じて処遇効果を高め、改善更生を図ることは大いに評価されるに値すると感じました。若い彼らの今後の生活そして人生の幸せを願わずにはいられませんでした。



# 更生保護を支えるボランティア団体

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

## 保護司

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。保護観察官と協働して保護観察にあたるほか、犯罪予防また学校との連携に幅広く活動しています。

## 平成二十四年度

### 島根県更生保護功労受表彰者 (敬称略)

更生保護活動功労により次の方々が受表彰されました。おめでとうございます。

#### 法務大臣表彰

杉田 雅弘 (那賀)

#### 全国保護司連盟理事長表彰

沖野 邦男 (浜田) 西田 良子 (那賀)

#### 日本更生保護女性連盟会長表彰

(更生保護女性会員)

永見 正子

#### 中国地方更生保護委員会委員長表彰

柿谷 恵之 (浜田) 浦田 明彦 (浜田)

藤田 厚 (江津) 芳川 榮佑 (那賀)

藤澤真紀子 (那賀)

#### 中国地方更生保護委員会委員長感謝状

(更生保護女性会員)

白川 則子 小泉富美子 龍山 成子

(BBS会員)

町田沙也香 仲宗根大輔 山田 佳奈

## 協力雇用主

犯罪歴のある人を、事情を理解した上雇用し改善更生に協力する民間の事業主です。社会復帰、再犯防止に貢献していただいています。

## 更生保護女性会

女性として(母)の立場から、地域社会の犯罪予防活動と犯罪を犯した人の改善更生に協力することを目的とするボランティア団体です。

## BBS会

様々な問題を抱える少年・少女と、兄や姉のような身近な存在として接しながら、悩みを聞き相談にのり、健全育成に協力しています。

川崎健太郎 林 愛子 三崎 香織  
堀 翔太

中国地方保護司連盟会長表彰  
野上 美登 (那賀) 塚本 朝代 (那賀)  
三上 良紀 (江津) 岡本 一代 (江津)

中国地方更生保護女性連盟会長表彰  
(更生保護女性会員)  
金田美智子 田儀セツ子  
松江保護観察所長表彰  
藤代 雅充 (江津) 岩永 孝吉 (浜田)

竹山 勝彦 (浜田)  
松江保護観察所長感謝状  
(更生保護女性会員)  
宇津美都子 堤 理都枝 宮田 澄江  
清水トミ子 井上 和子 二宮 典子

島根県保護司連合会会長表彰  
和原 勝博 (江津) 村川 立美 (江津)  
盆子原民生 (江津) 永妻 壽則 (江津)  
三瀧 香順 (江津) 豊田 統夫 (江津)

村上 博行 (江津) 王子 幸子 (那賀)  
松浦 三男 (浜田) 廣瀬 美子 (浜田)  
平田 雅子 (浜田)

# 浜田地区保護司会

## 組織図

保護司数 73名(25.6.1現在)

### 理事

高橋 隆興(浜田)	西田 良子(那賀)
野上 雄護(浜田)	王子 幸子(那賀)
沖野 邦男(浜田)	賀戸 重幸(那賀)
永井 健二(浜田)	後藤 直樹(那賀)
江木 修二(浜田)	藤田 厚(江津)
柿谷 恵之(浜田)	三上 良紀(江津)
浦田 明彦(浜田)	盆子原 民生(江津)
竹山 勝彦(浜田)	三瀧 香順(江津)
岡田 義徳(那賀)	豊田 統夫(江津)
小林 國雄(那賀)	

### 会長

大源 富夫(江津分区長)

### 副会長

塩谷 法顕(那賀分区長)

小川 泰昭(浜田分区長)

### 常任理事

杉田 雅弘(那賀) 永妻 壽則(江津)

中田 嘉明(浜田) 新山 弘(浜田)

### 事務局長

杉本 健治(浜田)

### 監事

村上 博行(江津)

瓦田 富子(浜田)

齋藤 奈美子(那賀)

### 浜田分区会員

法澤 邦彦  
岡本 誠史  
小松 ミチ子  
益長 始  
水口 清子  
花田 和代  
服部 孝之  
三明 昌子  
濱本 義基  
大草 裕幸

清水 靖之  
森明 隆  
肥塚 由美子  
牛尾 充  
岩永 孝吉  
松浦 三男  
広瀬 美子  
平田 雅子  
新田 哲朗  
岡本 正友  
川神 陽子

澁谷 幹雄  
☆  
☆  
☆

### 那賀分区会員

島田 道州  
藤澤 真紀子  
芳川 榮佑  
寺沢 順  
塚本 朝代  
松本 喜久恵

佐々木 美雪  
岩崎 敏  
橋本 節美  
金本 晶  
岡本 正博  
☆  
☆

### 江津分区会員

山根 英毅  
太田 篤子  
藤代 雅充

村川 立美  
和原 勝博  
佐々木 善友  
神山 哲夫  
桑原 英寿  
福岡 徹雄  
千代延 尚子  
☆  
☆  
(順不同)

## 保護司の異動

平成二十四年六月一日から  
平成二十五年五月三十一日まで

### ◆退任されました

長い間お疲れさまでした。

#### 高村 美都子

(那賀) 平成二十四年八月二十九日

#### 岩藤 福治

(那賀) 平成二十四年十一月三十日(定年)

#### 井上 民子

(浜田) 平成二十五年 四月 二日

#### 森福 直

(浜田) 平成二十五年五月三十一日(定年)

#### 野上 美登

(那賀) 平成二十五年五月三十一日

#### 岡本 一代

(江津) 平成二十五年五月三十一日

### ◆新任されました

#### 金本 晶

(那賀) 平成二十四年十二月一日

私にどのようなことができるのか、分からないままに保護司の職務を引き受けました。保護観察対象者等の社会復帰にどのように支援したらよいか、研修を積み重ねて務めたいと思いますので、よろしくお願ひします。

#### 岡本 正博

(那賀) 平成二十四年十二月一日

何かとせわしく毎日を過ごしている中、依頼を受け、その役割について十分認識しないままお引き受けしました。数回の研修を受けるたびに、人生経験も少ない自分に不安を抱きつつありますが、先輩の皆様方のご指導をいただきながら務めてまいりたいと思っております。

#### 千代延 尚子

(江津) 平成二十四年十二月一日

昨年十二月一日付で保護司を委嘱されました。「保護司」という言葉は知っていましたが、保護司がどんな活動をするのか分からないうままお引き受けしました。不安で一杯ですが、自分でできることを一生懸命務めさせていただきます。

敬弔  
保護司 丸山 稔様  
前浜田地区保護司会副会長  
(前那賀分区長) 去されました。生前のご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

### 編集後記

広報第五号を発行するにあたり、ご多用中玉稿をお寄せいただき厚く御礼申し上げます。社会を明るくす運動作文コンテストでは、佐々木風香さん、堀文哉さんの入賞おめでとうございませう。私たちが更生保護に携わる者として非行や犯罪のない明るい街づくりを目指して参ります。

広報編集委員

杉本 健治  
沖野 邦男  
豊田 統夫  
杉田 雅弘

